

優秀賞 10校

市立札幌旭丘高等学校 生物部



優秀賞

トンボの調査から自然環境を診断

トンネウス沼におけるトンボ相の移り変わりを調査している。トンボ相を継続的に調査することで、地域の水環境や陸上環境を推定することができる。本研究ではトンボ相が北方系種から南方系種に移り変わっていることが明らかとなり地球温暖化との関係について考察を進めた。



北海道帯広南商業高等学校 NSE48 (NANSHO ECO 48)



優秀賞

NSE48のエコ活動

生徒会でエコ委員会を設立。別名NSE48(南商エコ48)。単に「エコ活動」を主として取り組んできたのではなく、「地域環境の保全」が今日の最重要課題であることを掲げ、活動全般を通じて環境を守る大切さを尊重し環境にやさしい学校づくりを目指して取り組んでいる。



福島県立平工業高等学校 生徒会



優秀賞

「もったいない!」からはじまる環境活動

様々な活動を17年間継続している。活動は、①アルミ缶のリサイクルによる老人ホームへの車椅子寄贈、②アフリカマリ共和国ヘジャージや運動靴を送る活動、③インクカートリッジ回収による発展途上国支援、④ペットボトルキャップ回収で世界の子供達にワクチンを贈る活動。



新潟県立佐渡総合高等学校 GIAHSプロジェクトチーム



優秀賞

佐渡の社会を考える! GIAHSを用いた地域活性化プロジェクト!

人間もトキも生物も、食べなければ生きていけない。また、佐渡の農業や漁業は陸の豊かさ、海の豊かさを守り、生物を保全している。私たちは、食と環境をテーマに世界農業遺産や佐渡の魅力を発信し、食育に取り組み、地域全体を巻き込んだ社会づくりを自ら実践していく。



群馬県立利根実業高等学校 生物資源研究部



優秀賞

イノシシの色覚を利用した侵入防護研究と普及活動

野生動物から農業被害を防ぐことを目的に、イノシシの侵入防護対策の研究を行っている。農業廃材の青色園芸ポットなどを利用した侵入防護柵(青ポット柵)を設置した。圃場での侵入被害をもたらす成獣は実験開始から平成30年10月現在、2年9か月間侵入していない。



京都府立綾部高等学校 分析化学部



優秀賞

地域と歩む由良川保全活動 ~由良川レンジャー奮闘記~

由良川は大切な地元河川。安全安心な食料生産の確保、生物多様性の保護のため、市や市民、企業、関係団体を巻き込み、多岐に渡る保全活動に取り組んでいる。水田水と河川水の測定、水生生物調査、外来生物の調査、ゴミ捨て禁止の呼びかけ、出前授業、啓発活動・情報発信など。



京都府立桂高等学校 第3研究群「地球を守る新技術の開発」研究班



優秀賞

植物の隠れた能力を引き出す! ~未利用資源MAPを活用した新技術の開発~

下水処理時に発生する未利用資源のリン酸マグネシウムアンモニウム(MAP)を肥料として活用することを発案。現在、芝の緑地やムギ栽培の実証試験を行っている。肥料の削減、生産性と品質向上させる研究として、土壌環境の改善や食料自給率の向上に繋がる研究として取り組んでいる。



広島県立世羅高等学校 鯉米



優秀賞

錦鯉廃棄稚魚を活用した鯉米・魚醤生産による地域活性化

多くの鯉の稚魚が発色の悪いことを理由に、1年間で396万匹が産業廃棄物として処分されている。処分される鯉の活用方法として魚醤を生産した。耕作放棄地対策として無農薬米を栽培することを考え、廃棄される鯉の稚魚が田の除草をする鯉米を作った。米に付加価値をつけることができた。



山口県立防府商工高等学校 3年課題研究 ホットショップ 店舗経営班



優秀賞

持続可能な環境活動を目指して ~エシカル消費が世界を変える~

「エシカル消費」という考え方をもとに活動を行っている。「SDGsフェスタ」というイベントを地元防府市内の合計6店舗で開催した。また全国産業教育フェア山口大会では、子供達に楽しみながら「SDGs」の内容が学べるよう工夫して「SDGsゲーム」を実施した。



徳島県立徳島商業高等学校 ビジネス研究部



優秀賞

Palmsugar Story ~未来への希望~

カンボジアで活動。狙いは、1.食品加工工場に共有するヤシ砂糖を衛生的で安全なものにしたい 2.カンボジアの地方のヤシ砂糖農家の生活向上を図りたい 3.ヤシ砂糖を活用して、徳島県民の健康増進を図りたい 4.2020東京オリンピック・パラリンピックの関連施設に食材として供給したい。

